はばたけ

No 1
栃木障害者の自立を考える会
発行責任者 中山 金央
栃木市西方町 [illegible]
発行日 1.6.15

盂蓮は障害者が地域の人々と共にいきいきと生活していける「まちづくり」をすすめています。

発会にあたって

野山の草木の芽吹きに合せた様に、さる四月二十九日、皆井講師の招請演を賜わり設立大会を開催致しました。先ずは発会を、関係諸氏に多大なる御支援をいただいた事を御報告し、ここにお礼申し上げます。

本会の目的は、地域に立脚し、地域の人々と共に生きる喜びを享受できる、障害者の村作りを目指すことです。障害者が社会の一員として生活の場を保障しあえるよう、本人と親兄弟、友人地域の人々を手をつなぎ、理解し合う様しましょう。当面は、演会作りや、学習会、会員の交流を行ない、会の目的を具体的、理論的に明確にしながら、会員相互の信頼関係を深めたいと考えています。会員の中には作業場の確保、施設作りを目指すことを早急にとの声も上がっていますので、皆様の英知を集め、具体化出来ればと考えています。こうして夢はふくらむものの、現実には厳しさのみが出て来たりうずかりです。しかし、足を踏み出した以上、前に進むしかありません。会員の中にはプランの時間の充分取れる方、そうでない方、個々に条件が有るとは思いますが、お互いの信頼関係を築き、十分な準備期間を設定し、事を成就しなければなりません。皆様の御協力、御支援をお願い申し上げます。

記念講演
障害者の自立に求められるものを聞いて

↳講師 菅井真氏

私たち「栃木障害者の自立をめざす会」は、障害者の社会的自立のため具体的に何をしていくかを真剣に追求していく姿勢を表明して会を設立しました。

設立大会の記念講演として菅井氏から「自立」を実現していくためには何が求められるのか、学ぼうと具体的には四点を挙げました。まず、設立の目的に明記されたのは、自立が、真に、障害者の労働の権利（発達）していく（発達の保障）国民の義務（義務）としてあるということです。それは、国際障害者年を設置した国連決議を発端に大きくもり上がった権利保障運動であり、個人の障害（＊注）を克服しようとする（生理的事実）を環境によって変えられ、働いた仲間に発展していくことが不可能にされることのないよう環境や社会的な改善していくことでもあったということです。また、設立時プランづくりは、事業として障害者の権利を守ることであること、国、自治体の福祉政策の実態と分析し、こぶし運動を作ってきた経験から知ることができました。また、障害者個々人の自立にとっては①基礎学力や②自分自身の障害の認識をもち③生きる意欲をもって自分の本心を言える様な自立のためのよ

＊注 障害として、自分を支え支え合う仲間（集団）が必要であることも語られました。幼い私たちの会としては、まず感じるはやりでの勉強会を設置していくことです。今後も障害者の自立を考え続け会欲にとんだ会にしたいと思います。

白沢 宗男

5/24（日）11.00～
バーベキューとぶた汁パーティー

会費 おとな1人 1000円 こども 無料

会場 永野川河原

持参するもの
1. おにぎり
2. おかず、はし
3. 皿
4. 子どもの飲みもの（ジュースはやめましょう）

雨天決行です

ビール売ります

会員相互の親ぼくをはかろうと、バーベキューと及び汁パーティーをひらくことにしました。ご家族様で、ご近所さそい合せてご参加下さい。

材料準備の都合上、メ切を五月二十日とさせていただきます。

ふるってご参加下さい。

当日は中山動物病院まで集合

6/14（日）10.00～15.00 栃木市役所西駐車場
ふれあいのつどい

バザーもします。全会員の参加を。

お茶の注文承ります。
550円から1400円まで
配達は6月下旬です。くわしくは 高木(22-0626)まで。
8月1.2.3日に盛岡に行きます。ついでに
おしらせ